

冬の仕事への注意点

依田林業新聞

林業の主な仕事は山の中です。冬に雪が降ると仕事がないのでは？と思われがちですが、雪が降る地方でも降らない地方でも林業の冬は通常通り、間伐や枝打ちなどの仕事があります。

むしろ、夏に伸び放題だった草が枯れ果て、歩きやすくなるので、夏の間には枝打ちや間伐が出来なかった場所で作業が出来るようになります。さらに寒さが厳しくなり、積雪が増え、土壌が凍結すると夏場の間に通れなかった場所に道を作れるので、運搬もはかどります。このように、冬場の林業は雪が降っても降らなくても作業がなくなることはありません。そこで注意しないといけないのが、転倒です。スパイク長靴のスチール製は特に滑りづらく、リスクを抑えられます。人気のある長靴一部紹介します。



ミツマ 岩礁 No.5000NS



マルゴ プロレインスパイク M-31



ミツマ 岩礁 No100



鈴木産業 ピンスパイク 長靴 鈴付き WP-S3W

作業しやすく、転倒しないようにリスクアセスメントをしましょう！！

発行所

(有) 依田林業
塩山事務所
総務部

巣箱づくりと設置の意味とは

実際に巣箱を見たことがある人の方が少ないと思いますが、何故巣箱を製作し、設置するのだろうと知っている人も少ないと思います。巣箱は、巣を作りそこを生活の拠点とする性質のある動物の生活を助けるために、人間が製作・設置するとされていますが、自然保護活動の一環で、巣箱をかけることで、鳥の保護を目指す運動も見られます。

留鳥の場合冬(12月~1月)で、夏鳥の場合日本に渡来直前の春(3月~4月頃)に巣箱を設置します。一般的に巣箱を利用する鳥は、シジュウカラ・ヤマガラ・スズメ・ムクドリ(留鳥)です。鳥の巣は、人間の考える家とは大きく異なります。鳥にとっての巣とは、ごく簡単に言うと「移動できない卵や幼いヒナを保護し育成するための場所」であり、通常の生活には巣は全く必要がないので、寝るときに巣に帰るといったことはありません。ほとんどの種類が木の枝などに止まったまま寝るそうです。巣箱を作るのも大変な作業ですが、設置すること以上に清掃をする維持管理が重要とされています。鳥の絶滅を防ぐためにも、大事な作業なのです。

今月の一言

「勝ち」より「価値」が大切だ

節分豆知識

2月3日節分。伝統的な風習も、意味があり節分の楽しみを深めてくれると思うので、ご紹介します。

○節分の由来

季節の節目である「立春」「立夏」「立秋」「立冬」のことをいい、旧暦では春から新しい年が始まったため、立春の前日の節分(2月3日頃)は、大晦日に相当する大事な日だったから重要視された。

○豆まきの由来

穀物である豆には「生命力と魔除けの力」が備わっていて、恐ろしい出来事は鬼の仕業だと考えられ、「魔目(豆)」を鬼の目に投げて「魔滅」し、一年の無病息災を願うという意味合いが込められています。

○豆まきの仕方

鬼は暗くなってから来るので、夜に行う。豆は炒り豆で行う。(拾い忘れた豆から芽が出ないように)大きな声で「鬼は外、福は内」奥の部屋から玄関に向かって、鬼が入ってこないようにすく戸を閉める。

○恵方巻の由来

鬼が忘れていった金棒に見立て、巻き込んだ福を逃がさないようにという意味。